

Steinberg Cubase SX 3 – Nuendo 3とTranzPort

このドキュメントでは既にTranzPortドライバをインストールし、TranzPortリモートの使用準備ができていることを前提としています（まだ準備ができていない場合はTranzPortユーザーガイドまたはクイックスタートガイドにてインストール方法をご参照ください）。また本書はCubase SX 3またはNuendo 3とTranzPortドライバv.1.0.0を使用した場合を想定していますが、それ以前と以後のソフトウェアバージョンに当てはまることもあります。注：このドキュメントの表記で「Cubase」はCubase SX 3とNuendo 3両方を指します。

設定

Cubaseを起動する前にまずコントロールモードを「Cubase (Mackie Control)」に設定します。（WindowsではタスクバーのTranzPortアイコンを右クリック；MacではステータスバーのTranzPortアイコンをクリック）これによりTranzPortはCubaseに対して正しいMIDIメッセージを送受信するように設定されます。コントロールモードの詳細はTranzPortユーザーガイドをご参照ください。

Cubaseを起動し、「Devices/Device Setup...」ウィンドウを開きます。「+」シンボルをクリックして「Add Hardware」リストから「Mackie Control」を選択します。Driver項目でデバイスリストから「TranzPort」を選択します。次に「MIDI Input」、「MIDI Output」共にTranzPortを選択します。

これらの欄の下にユーザー定義機能を設定するセクションがあります。TranzPortは最大8つのユーザー定義機能をサポートしております。詳しくは下記をご参照ください。「OK」をクリックしDevice Setupウィンドウを閉じます。

注：ご使用のコンピューターの設定によってCubaseはMIDIポートを「[エミュレート済み]」と表示することがあります。もしこれを原因とした問題が起きる場合、もしくはCubaseのMIDIポートフィルタリングに関するの情報をお求めである場合は次のサイトにアクセスください：

http://service.steinberg.net/knowledge_pro.nsf/show/sx_emulated_midi_ports

また混乱を避けるため「File/Preferences...」にて「Editing」を選択し、「Enable Record on Selected Track」からチェックをはずすことを推奨します。

操作

TranzPortには18の操作ボタン、2つのローカルボタン、データホイール、

そして 2x20 文字の LCD ディスプレイが装備されています。各ボタンの基本機能はラベルによって明白に示されています。「SHIFT」ボタンにより全てのボタンが複数の機能を持つことで TranzPort による Cubase 制御の幅が広がります。Shift とは押されている間のみ有効な一時的ボタンです。

Cubase プロジェクトを開くと TranzPort の LCD ディスプレイには一番最初のトラックのトラック名、フェーダーレベル、そしてシーケンサーの位置が表示されます。ボタンを押すとトラックのパン値も表示されます。さらにトラックのソロ、ミュート、レコードアーム、そしてセッションのパンチレコード、サイクルモード、と録音ステータスの設定を示すステータス LED が点灯しているかも知れません。再生ボタンを押すと画面の再生ボタンをクリックしたのと同じように再生が始まります。多くのボタンは画面上の同一機能のボタンと全く同じように機能します。

下記の表には各ボタンを通常に押した際と Shift ボタンと併用した場合の機能が説明されています。また、TranzPort CD-Rom にある「Cubase (Mackie Control).pdf」は TranzPort が Cubase でコントロール可能な機能を視覚的に示しています。参考のためにプリントすると便利でしょう。

TranzPort ボタンとデータホイール機能

コントローラー名	通常機能	SHIFT時機能
REW	巻き戻し	スタートへ移動
FFWD	早回し	エンドへ移動
STOP	停止	保存
PLAY	再生	F1 (ユーザー定義)
RECORD	録音	F2 (ユーザー定義)
PREV	前のマーカーへ移動	F3 (ユーザー定義)
ADD	現在の位置にマーカーを作成	F4 (ユーザー定義)
NEXT	次のマーカーへ移動	F5 (ユーザー定義)
IN	左ポジションへ移動	左ポジションを設定
OUT	右ポジションへ移動	右ポジションを設定
PUNCH	パンチイン入/切	タイムモードbeats/SMPTE切り替え
LOOP	サイクル入/切	トラックレベル/トラックパン/マスターレベル調整のトグル
< TRACK	前のトラックへ移動 (左/上)	最初のトラックへ移動
TRACK >	次のトラックへ移動 (右/下)	F6 (ユーザー定義)
REC	トラックのレコードアーム入/切	F7 (ユーザー定義)
MUTE	トラックをミュート/ミュート解除	全てのミュートを解除

SOLO	トラックをソロ/ソロ解除	全てのソロを解除
UNDO	取り消し	やり直し
DATA WHEEL	タイムラインをスクロール	トラックレベル、トラックパン、またはマスターレベルを調整
FOOTSWITCH	User A (ユーザー定義)	

注：全てのミュートを解除（[SHIFT] + [Mute]）はNuendoでは機能しません。Cubaseのみで機能します。

データホイール

ローカルコントロールボタンを併用してディスプレイコントラスト、バックライトのレベル、スリープモードのディレイ時間調整の他、データホイールはCubaseでいくつかの役割をこなします。まずデータホイールを回してプロジェクトタイムライン上の現在位置を移動することができます。これにより再生や録音を始める位置を素早く定めることができます。また[SHIFT]を押さえると選択されたトラックのレベルまたはパン設定のまわりに矢印が表示されます。[SHIFT]を押さえたままデータホイールを回すと矢印が示すパラメーターを調整することができます。[SHIFT]ボタンを押さえながら[LOOP]ボタンを押すとホイールによって調整されるパラメーターが切り替えられます（トラックレベル/トラックパン/マスターレベル）。

ユーザー定義ボタン

フットスイッチと7つのボタン（シフト時）はCubase「Devices/Device Setup...」ウィンドウにて任意の機能をアサインすることが可能です。何百もの機能の中からこれらのコントローラーにアサインする機能を選べるため、TranzPortは様々な用途に対して非常に柔軟に対応することができます。

総輸入販売元
タックシステム株式会社
東京都品川区上大崎 3-5-1
TEL:03-3442-1525 FAX:03-3442-1526
<http://www.tacsystem.com>